

(3)教育環境の充実

①学校施設の整備

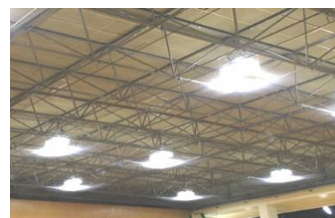
快適な学校施設

照明、給排水等の付帯設備や内装、外装の老朽化が著しい状態であり、建物の状況を踏まえながら計画的に大規模改造事業を実施しています。



地震に強い学校施設

地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るため、天井、照明器具、外壁、窓ガラス、家具等の非構造部材の耐震対策を進めています。



快適なトイレ環境

内装・設備の更新や洋式化を進め、快適な学校生活を送ることができる環境を整えています。



教材共有ポータルサイトの活用

市内全教職員が利用できる教材共有ポータルサイト『たび丸ねっと』を開設し、個々の教職員や学校・教育委員会で作成した教材や優れた授業実践のビデオ等を市内全体の共有財産として活用しています。これにより、授業改善を進めるとともに、授業準備を効率的に行い、子どもと向き合う時間を確保しています。



学校ICT化のさらなる推進（ハード面）



平成21年度から平成22年度にかけて、全小中学校の普通教室に**電子黒板**と**書画カメラ**を整備し、平成26年度から平成28年度にかけて**タブレットPC**を約4800台導入しました。また、**デジタル教科書**も導入しています。平成31年8月には、平成26年度に配備した小学校普通教室のWindowsタブレットPCと小中学校のiPadを、新しい機種に更新する予定です。

通常学級用タブレットPC

WindowsタブレットPC
(4,000台)



特別支援学級用タブレットPC

iPad (各校10台)



充電保管庫



学校ICT化のさらなる推進（ソフト面）

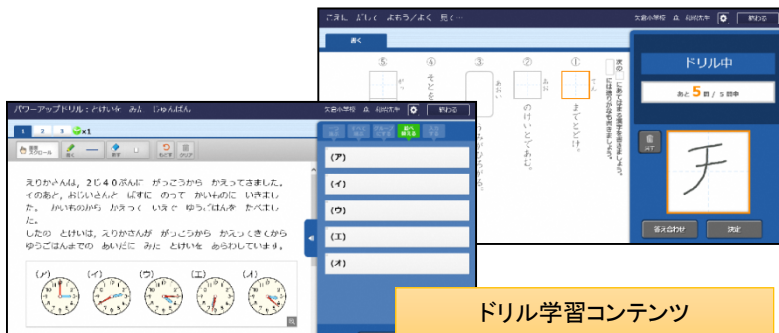


自分の考えを発表したり話し合ったりする授業を行うため、子どもの意見や考えを一斉に表示したり、比較して表示したり、分類して表示したりすることができる**授業支援ソフト**を導入しています。ドリル学習コンテンツもあり、家庭学習を含め、さまざまな学習に活用できます。

また、名簿管理や通知表、指導要録、出席簿の作成、高等学校入試関連書類の出力等を行う**校務支援システム**を導入し、教職員の事務作業の効率化を図っています。システム導入により削減できた時間を、子どもと向き合う時間や授業の準備、教材研究などにあてることで、**教育の質の向上**を図ります。



校務支援システム トップ画面



ドリル学習コンテンツ

(3)教育環境の充実

②地域人材の活用

地域協働合校（ちいききょうどうがっこう）の実施

平成10年度からスタートした「地域協働合校」は、学校・家庭・地域が、学校での教育活動や地域行事等で、あらゆる教育資源を生かし、**未来を担う子どもと健全な育成を願う大人が世代を超えて知恵を出し合い、すべての人が輝くまちづくり**をめざしています。

また、「**地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）**」を教育委員会が委嘱し、配置することにより、学校と地域住民がつながる“地域とともにある学校”づくりを一層推進します。



学生ボランティアの活用



学生の教育ボランティア活動を通じて、児童生徒や学校教育等への理解を深め、社会貢献や教職への意欲を培うとともに、各教科等に関する指導の補助をはじめ、学校における様々な教育活動の円滑な実施に寄与しています。

地域ボランティア等による学校支援の充実



子どもの登下校時や校内での安全を守る「**スクールガード**」、中学生の部活動を支える「**部活動指導員**」、学習を支援する「**学生ボランティア**」「**学校図書館運営サポーター**」など、地域のボランティアによる学校支援の充実を図っています。

学習ボランティアの育成と活用



市民の学びや知識・経験を生かした社会参加を促すための学習ボランティアの育成を図るとともに、学習活動を支援するために、さまざまな学習をサポートする個人や団体の情報を登録提供する「**草津市ゆうゆうびとバンク（学習ボランティア登録情報）**」を作成し、学校や地域の地域協働合校等で活用しています。